

橋野鉄鉦山稼働時代の森づくり育樹祭ウォーキング

10月21日(土) 気温10℃と少し肌寒さはありませんでしたが秋晴れに恵まれ、11人(うち、当署職員4人)の参加者のもと、釜石市と署の主催により「橋野鉄鉦山稼働時代の森づくり育樹祭ウォーキング」が実施されました。

昨年度までは、「橋野鉄鉦山郷土の森保護協定」などにに基づき、国有林内での枝打ち及び除伐作業を実施していましたが、今年度は趣向を変え、片道約2kmのコースを往復するウォーキングとなりました。

10時にインフォメーションセンターを出発し、橋野高炉跡を過ぎ、二又林道を経由し大森沢林道上の眺望スペースまで歩きました。最近のクマの出没状況もあり、クマ鈴、クマ除けスプレー、トランシーバー、緊急用車両など安全確保をしておりましたが、油断は禁物です。

大森沢林道からは、インフォメーションセンターや笛吹牧場、遠野三山の一つ六角牛山も見えました。普段は気にも掛けない何気ない景色ですが、釜石市世界遺産課の職員による解説が新鮮です。

また、昨年度作られた大森沢林道の法面にある大きな石に驚いたりする参加者もいました。こちらにも私たちに当たり前すぎて、驚いているのが新鮮です。

11時前に折り返し地点を出発し、インフォメーションセンターに11時30分頃に到着し、署長が感謝の言葉を述べ、無事終了しました。

普段我々が当たり前と思っていることも、視点を変えれば新鮮であり、このようなイベントを通じて国有林の情報を発信していく必要性を感じた一日でした。



大森沢林道眺望スペースから見たインフォメーションセンターとその方向へ手を振る参加者



大槌森林事務所 首席森林官 高橋博孝

～参加者の感想～

◆50歳代 男性

普段入れない場所に入れていただき、また状況に合わせたご説明をしていただいたので、見学会がより楽しく興味深いものになりました。雨も降らずに、眺めも良く山や牧場など解説していただけて分かりやすく楽しかったです。普段運動不足の体には、上り坂は息が切れて少しきつかったです…苦笑

危険な場所があつてぐるりと一周することはできませんでしたが、わたしには程よい距離でよかったと思います。

また機会がありましたら、是非参加させていただきたいと思います。

◆70歳代 男性

天気も良く大変よかった。(距離的には)少し物足りなかったが、景観が良く参加してよかった。林道もできたばかりだからかきれいで歩きやすかった。